



主治医との情報共有がうまくいく方法を伝授! 急変を見抜く 呼吸・循環アセスメントと 的確な“報告・対応”



※講義時間：240分

- 素早く気づき、悪化をさせない、正しいアセスメントと対応力を身につける
- コールの判断、報告、対応を事例学習！急変場面で慌てないための実践知識

樫山定美氏 医療創生大学 看護学部 看護学科 教授
急性・重症患者看護専門看護師

筑波大学附属病院集中治療部、京都大学医学部附属病院救急・集中治療部、自治医科大学附属病院集中治療部・救急部、自治医科大学看護学部、横浜創英大学看護学部などを経て現職。2013年急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得。ELNEC-Jクリティカルケア指導者。クリティカルケア領域のスペシャリストとして学外での講演や、学会発表、e-ラーニング講師などを務める。

録画配信 [視聴期間]
オンライン **約2週間** 申込2~3日後から視聴できます。

受講料 (税・送料込) 一般 13,000円 会員 10,000円
※教材：PDFテキスト付(ダウンロード、プリントアウト可)
冊子テキスト(60頁)ご希望の方は別途1,500円

プログラム

1. 急変を見抜くための呼吸・循環アセスメント ～エビデンスレベルを知って根拠に基づくケアにつなげよう

- 急変を察知する情報の見方と判断の仕方
バイタルサイン、検査値、心電図、NEWS(早期警告スコア)でどう判断するか
- 急変を察知した後にすべき動き
- 呼吸・循環アセスメントのココがポイント
【呼吸】急変に至ってしまう呼吸の病態とは
・呼吸状態を判断する上で必要なアセスメント
・呼吸回数を甘く見ない! 見落としがちな悪化のサイン
【循環】循環動態が不安定な状態とは
・ショックの病態をしっかり把握し、前ぶれに気づく
・心不全の急性増悪、肺血栓塞栓症などを押さえる

2. 事例で学ぶ このケアは本当に正しい? 急変察知の根拠と急変時の○×な“報告・対応”

- ドクターコールのルールとうまくいくコツ
- 心肺停止に至る経過と対応の基本
- 即実践につながる事例で学ぶ!
見落としがちな急変サインと×な対応を振り返る
【初級編】呼吸困難 ・意識障害(COPD症例)
・血圧低下 ・重症不整脈
【応用編】感染性ショック(敗血症性ショック) ・急性心不全

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから ▶ 日総研 17101 **検索**

関連雑誌 **現場実務のスキルアップ!**

現場で即、使える! 後輩指導にも役立つ!

重症集中ケア

A4変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

Web教材+実務専門誌 (定期刊行物・会員制)

今後の特集

- クリティカルケアの基盤となる知識・考え方 [4-5月号]
- アセスメント力を伸ばす! 気づきを与える! 後輩を伸ばす質問のコツ [6-7月号]
- pros & consで考える! クリティカルケアのあり方 [6-7月号]

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰

日総研 接遇大賞

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を Webで公開中 **接遇大賞** **検索**

国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

精神保健福祉士養成所 通信課程

お問合せ TEL: 0120-054977 URL: www.nissoken.com 日総研 **検索**